

2024年 新年の代表ご挨拶

ヒューマンパワー社員の皆さん、
新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年はアフターコロナに、円安による物価高、
仕事以外のストレスも多い年でした。

私は、正月に呼んでいた本の中で改めて考える本がありました。
(とにかく仕組み化) という書籍です。

P19より抜粋：

「マニュアル」をナメていないだろうか
いまの時代、「マニュアル」が軽視されています。
書いてある通りにやることはバカにされがちです。
しかし、マニュアルは、過去の苦労の結晶です。
世の中にあるレシピや法則は、過去の膨大な失敗を経て、残っています。

この本を読んだ翌日、2日の日航機と海保機の衝突事故があり
マニュアル、仕組み、ルールのどこに間違いがあったのだろうと考えました。
何万回、何十万回に一度であっても有ってはならない事です。

これらのルールがあったとして、なぜそれが生まれたかについて想像力を働か
せてみてください。

過去、何か問題が起こったとき、そのルールは作られたのでしょうか。

そのときは必要だったのです。

ただ、そのときの「責任」を語るべき人が、いまはいません。

ルールが形骸化してしまい、そのまま残ってしまっている状態です。

誰かがその「責任」を引き受け、かえなくてははいけない。

本来、人の上に立つ人が、自らの責任で変えるべきです。

もしくは、

「このルールがあることで、ある問題の発生を食い止めています」

ということを組織全体に浸透させなくてははいけない。

ルールを正しく取り扱う仕組みがないから、

「理不尽なルール」をもっと大きな仕組みの枠組みによって

アップデートしていく。

大きな問題になる前に、

いま一度、マニュアルを確認しましょう。



株式会社ヒューマンパワー
代表取締役社長 小林 浩二

